

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

# ACMOS HIGHWAY

アクモス ハイウェイ

Top Message

## 「創造」へ向かって

顧客と新たな価値を創造し、安定的な収益の確保を目指す

ピックアップ

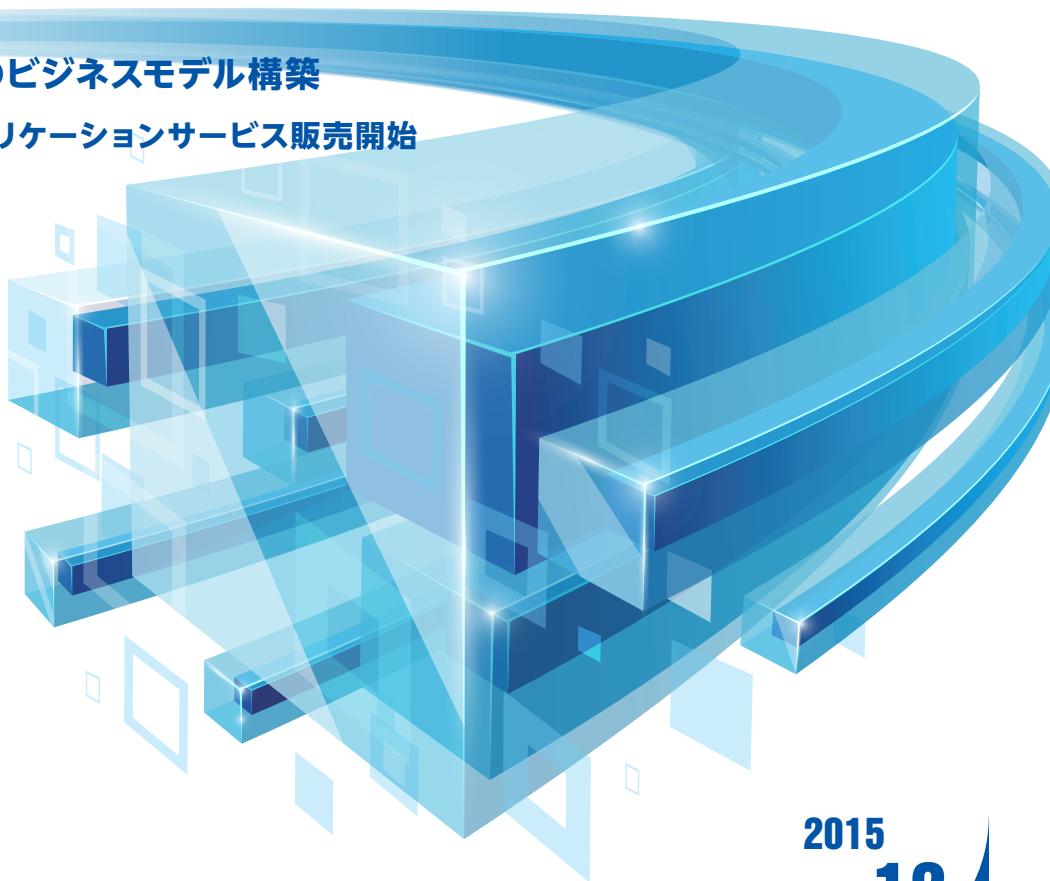
医療情報サービス事業のビジネスモデル構築

「SYMPROBUS Cloud」アプリケーションサービス販売開始

アクモスジャンクション

統計調査支援システム

人を育てる「新入社員教育」



アクモス 株式会社

証券コード：6888

2015  
Vol.12



# 「創造」へ向かって

顧客と新たな価値を創造し、  
安定的な収益の確保を目指す

代表取締役社長  
飯島 秀幸

## 第24期を振り返って

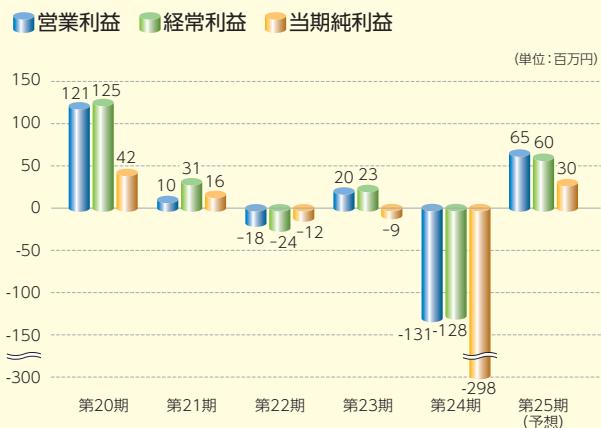
■ 消防通信指令システムの影響で、業績は厳しい結果となりました。

第24期の業績は、大変厳しい結果になりました。

売上高は、4,003百万円（前期比11.9%増）と中期経営計画及び業績予想通りとなりました。売上増に寄与したのは、ITソリューション事業のSYMPROBUS Fシリーズの消防通信指令システムでしたが、同時に同システムのプロジェクトで損失が発生し、営業利益予想が一転して営業損失となったことは大きな見込み違いとなりました。システム間の連携上の障害や不具合へ

の対応のため現地対応業務が長期化し、第25期に発生する費用として製品保証引当金119百万円を製品原価に計上いたしました。

以上の結果、営業損失は131百万円（前期は営業利益20百万円）、経常損失は128百万円（前期は経常利益23百万円）となりました。また、特別損失として消防関連のソフトウェア評価損53百万円、子会社の減損損失31百万円、事務所移転に伴う損失24百万円が発生したため、当期純損失は298百万円となりました。



※当社は、2013年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。比較のため、1株当たり当期純利益の金額は、第20期期首に当該分割が行われたと仮定して算定いたします。

※自己資本比率=自己資本(純資産-新株予約権-少数株主持分)/総資産

■ 自社製品開発、アプリケーションの拡販、専門性の高いサービス提供の仕組みができたことは、成果といえます。

第24期は「成長」をテーマに、首都圏市場での成長を目指して取り組んだ1年でした。業績面では厳しい結果とはなりましたが、第22期から新規事業創出として取り組んだ消防通信指令システム及びその関連システムを5消防本部様に納品した実績は、自社製品開発に取り組んできた一つの成果だと思えます。また、統計調査支援システム(※1)など、ニーズをとらえたアプリケーションの拡販ができたことは大きな成果でした。医療系分野では、病院情報システムの運用サービスにおいて、医療情報技師(※2)の資格取得を推進し、採用から資格取得教育を一貫して行い、専門性の高いサービスによりお客様に役立てる仕組みができたことで、安定的成長の可能性が高まりました。

※1 統計調査支援システム…国勢調査などの各種統計調査を実施する際に使用する事務支援システム。詳細については、11ページの「統計調査支援システム」をご参照ください。  
※2 医療情報技師…医療情報システムの開発・運営・保守を行うための知識についての資格。これに関連した7ページの「医療情報サービス事業のビジネスモデル構築」もご参照ください。

第25期は「創造」を目指す

第25期は中期経営計画の最終年に当たり、「創造」を年度テーマに、お客様の潜在需要を呼び起こす「顧客創造」と新しいサービス提供で新たな価値を創出する「価値創出」によって、「成長」するためのエンジンを作り、首都圏市場のお客様開拓に引き続き取り組んでまいります。新規事業分野では、タブレットやスマートフォンを使った現場業務支援システムの開発を進めており、少しずつですが「成長」の芽を育てつつあります。



2015年6月に幕張メッセで行われた「Location Business Japan 2015」にアクモスとASロカスが共同で出展。WEBアプリケーション型GISエンジンや現地調査用タブレットGISを展示し、PR・営業活動を行いました。

第25期よりアクモス単体で、より小さな組織で採算管理を行うため少人数の管理会計組織ウィングを組織し、各ウィングの時間当たりの付加価値を指標とする管理会計制度の仕組み(A-WINGと呼んでいます)を採用いたします。収益力の改善は喫緊に対処すべき課題ですが、各ウィングのリーダーが小さな組織の経営者としての経験を積んでリーダーシップを発揮してくれることを期待しております。

私は、社員の一人一人が積極的な意識をもって働いてこそ、良い会社になると考えております。この仕組みの効果は、すぐには出ないかもしれませんが、社員全員が経営参加の意欲を持ってそれぞれの力量をいかに発揮できるよう、粘り強く継続してまいります。



株主のみなさまへ

平素より株主のみなさまには、格別のご高配を賜りありがとうございます。当社は「株主さまへの持続的な利益還元」を基本方針の一つとして取り組んで

まいりました。しかしながら、第24期は連結、単体ともに当期純損失となり、配当の原資の確保ができなかったため、誠に遺憾ながら、株主のみなさまには配当をもって報いることができませんでした。

第25期は、第24期の消防通信指令システムの影響が残りますが、早期の解決を図り、収益基盤の強化に注力します。また、時流を捉えて「創造」に取り組むことによって、第26期からの次期中期経営計画での更なる成長につながる分野での事業を進めていきます。

株主のみなさまには、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。

## ITソリューション事業

事業別売上高 **37億60百万円**



### 第24期の状況

クラウドサービスの名称を「**SYMPROBUS Cloud**」とし、アプリケーションメニューをリリースしました。茨城地区で提供している地方公共団体向けグループウェア共同化案件は、参加自治体が増え、規模が拡大しています。

消防通信指令システム開発は、5案件を納品し売上増に寄与したものの、仕様変更や納品後対応の発生、今後の受注計画の見直し等により、損失が拡大しました。

地図情報提供サービス事業は、2015年が国勢調査の年にあたることから自治体の統計調査支援システムや関連業務の受注が増加しました。

医療情報システム事業において、資格取得支援に注力し、医療情報システムに精通した技術者によるシステム運用のビジネスモデルを構築。新規顧客獲得や増員、業容拡大を推進しています。

以上の結果、売上高は3,760百万円、営業損失99百万円となりました。

### 今後の方針

成長分野の取り込みとして、国の施策や時流に適合したサービスや新しい価値の創出により、首都圏中心に顧客創造と販路拡大を目指します。

既存事業においては、基盤となる顧客との絆を強め、自社の特長を活かす強みを強化して活用するとともに、人材の確保と育成に注力していきます。また、利益率を重視した受注活動とプロジェクトマネジメントの徹底により、収益力強化を図っていきます。

### 売上推移



## アクモス株式会社

- 消防通信指令システム
- CTI
- GIS
- スマートデバイス

- IT基盤設計・構築
- SI・ソフトウェア開発
- システム運用・保守  
公共  
産業・製造系 企業  
医療機関など

## ASロカス株式会社

- 業務系アプリケーション開発
- 地図情報提供サービス

## ACMOSソーシングサービス株式会社

- 病院システム運用開発
- 業務系、基幹系システム開発
- ヘルプデスク

## 株式会社ジイズスタッフ

- 情報処理サービス
- BPOサービス

## 株式会社エクスカル

- 規格認証サービス
- 第三者検証サービス

- ◆ 単体ITソリューション群
- ITソリューショングループ企業
- ITサービスグループ企業



## ITサービス事業

事業別売上高 **3億64百万円**

### 第24期の状況

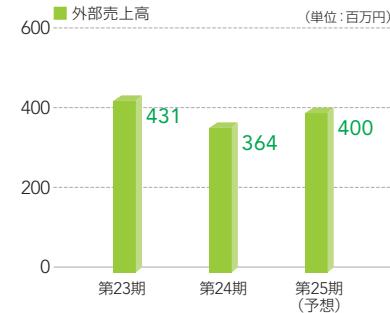
情報処理・BPOサービス事業は、新規顧客からの受注減少と案件の小規模化により売上が減少しましたが、受注拡大にむけた社員教育と営業活動に注力しました。

IT製品のテスト事業は、既存分野において厳しい事業環境が続くものの、Ethernet規格に対応した電気計測、USB3.0 Embedded Host関連などの新規サービスを開始し、受注拡大を図りました。

以上の結果、売上高は364百万円、営業損失0百万円となっております。

### 今後の方針

### 売上推移



情報処理・BPOサービス事業は、引き続き教育・営業活動を推進していくとともに、市場価値のある商品・サービスの開発により競争力強化を図ります。

IT製品のテスト事業は、収益力低下が続いているため、組織体制を再構築し、固定費の削減にも取り組んでまいります。

## ACMOSソーシングサービス株式会社 医療情報サービス事業のビジネスモデル構築

医療情報サービス事業では、病院情報システムの運用支援業務を展開しています。

### 戦略的にシェアを拡大

- ・医療事業を成長分野と位置付け事業拡大を目指すという基本方針に基づき、入札に積極的に参加。
- ・医療システム事業を展開しているベンダーとパートナーシップを締結し、ベンダーの病院情報システム事業における運用支援業務を担当。
- ・既存顧客への提案活動により、系列病院からの受注を獲得。

### 強みは電子カルテ

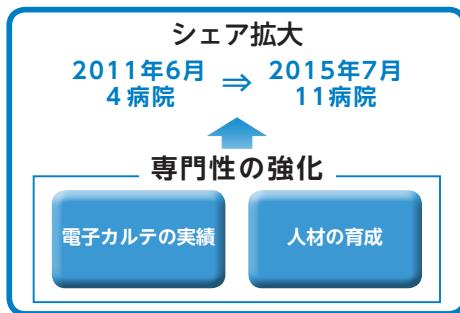
強みは、電子カルテシステムでシェアの高い4社(※1)について実績を持っていることです。国内の約8割の病院がこの4社の電子カルテを導入しているため、多くの病院の調達に参画することができました。

### 人材確保と育成に注力

最も苦労したことは、人材の確保と育成です。運用支援業務は1病院で最低でも2~6名の人材が必要となりますが、業務経験者の獲得が困難なため、未経験者を採用して1~3か月の研修を重ね、運用技術者として育成してきました。また同時にリーダー育成にも注力し、体制の構築を図りました。

### さらなるシェア拡大へ

今後はベンダーとの協業体制を強化するとともに、病院との直接契約案件の獲得により、さらなるシェア拡大を目指します。そのために戦略的な人材育成を推進し、リーダーによる教育プログラムの作成のほか、医療情報技師資格(※2)取得のための試験対策セミナーを引き続き実施していきます。また、新たに医療コンサルタント部門を立ち上げ、運用支援業務からのステップアップを図ることも重要な課題として取り組んでいきます。



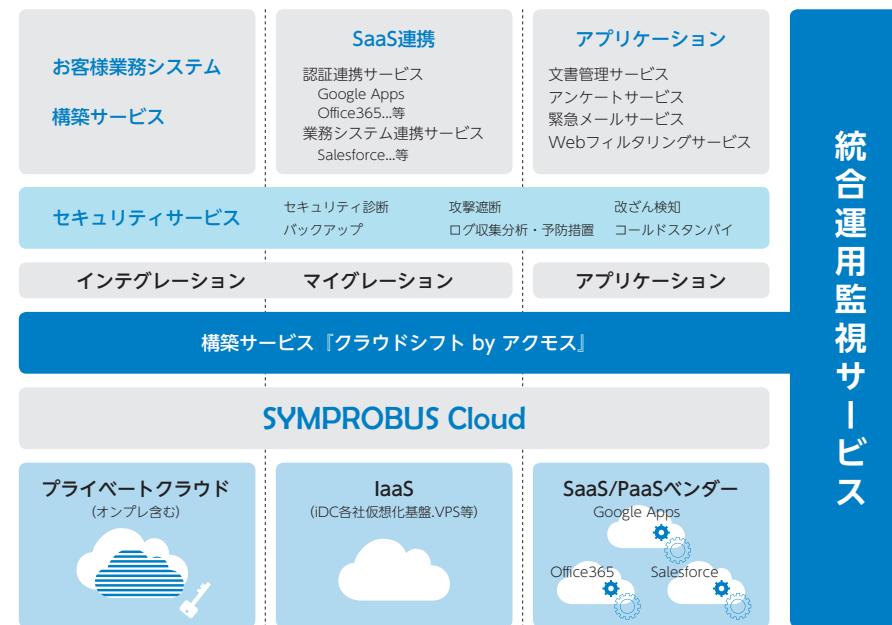
■ACMOSソーシングサービス株式会社  
 ■所在地：〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-26-8 ユニゾ神田小川町三丁目ビル4F  
 ■URL：http://www.acmos-ss.jp ■TEL：03-5217-3332 FAX：03-5217-3334

※1 電子カルテシステムシェアの高い4社…富士通株式会社、日本電気株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社ソフトウェアサービス  
 ※2 医療情報技師資格…日本医療情報学会による民間資格。病院情報システムの開発・運営・保守を行うための情報処理技術、医療分野・医療情報システムの知識が求められる。ACMOSソーシングサービス株式会社では、毎年、専門の大学より講師を招いて試験対策セミナーを実施しており、2015年6月末現在19名が取得している。  
 ※3記載されている社名、システム名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

## アクモス株式会社 「SYMPROBUS Cloud」アプリケーションサービス販売開始

クラウド導入時の構築・運用管理をトータルにサポートするソリューションの名称を「SYMPROBUS Cloud」とし、4つのクラウドアプリケーションサービスの販売を開始しました。今後も随時、拡充していく予定です。

### SYMPROBUS Cloud サービス体系



アプリケーション名	概要
文書管理	電子ファイルをクラウド上に登録して管理することで、複数の利用者間でそれを共有するシステム。Web画面による簡単な操作でファイルの共有管理やダウンロードが行える。また、ファイル/フォルダの詳細情報やアクセス権等の属性の設定も可能。
アンケート	Webを利用したアンケートを、業務担当者自身で作成できるシステム。IT関連の知識がない方やパソコン操作に不慣れな方でも、短期間で簡単にアンケートを作成できる。また、回答の結果をさまざまな方法で集計することができる。
緊急メール	学校・教育機関向けのメール配信システム。メールアドレスを登録した保護者や学生に対して、緊急情報や学校情報に関するメールを一斉送信することにより、正確な情報を速やかに、かつ、低コストにて伝達することができる。
Webフィルタリング	Webサイトを介しての情報漏えいの脅威や不正アクセス等を排除、抑止するサービス。さまざまなケースを想定した検知、制御方法による万全のセキュリティ対策にて、快適なWeb利用環境を提供する。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第23期 2014年6月30日現在	第24期 2015年6月30日現在
資産の部		
流動資産	1,917,942	2,209,814
固定資産	585,321	436,060
有形固定資産	245,525	205,411
無形固定資産	246,791	118,346
投資その他の資産	93,004	112,303
資産合計	2,503,264	2,645,875
負債の部		
流動負債	759,237	1,297,114
固定負債	237,232	140,257
負債合計	996,470	1,437,371
純資産の部		
株主資本	1,466,175	1,157,864
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△ 349,445	△ 657,756
自己株式	△ 53,911	△ 53,911
その他の包括利益累計額	8,963	11,190
少数株主持分	31,655	39,449
純資産合計	1,506,794	1,208,503
負債純資産合計	2,503,264	2,645,875

### Point 1 資産の部

資産は、前期末に比べ142百万円増加しています。

流動資産の増加の主な理由は、現金及び預金の増加306百万円、繰延税金資産の減少23百万円によるものです。

有形固定資産の減少の主な理由は、工具器具備品34百万円の減少によるものです。

無形固定資産の減少の主な理由は、ソフトウェア44百万円、のれん59百万円の減少によるものです。

投資その他の資産の増加の主な理由は、長期前払費用14百万円の増加によるものです。

### Point 2 負債の部

負債は、前期末に比べ440百万円増加しています。

流動負債増加の主な原因は、受注損失引当金の減少34百万円、買掛金の増加96百万円、製品保証引当金の増加119百万円、短期借入金の増加333百万円があったことによるものです。

固定負債の減少の主な理由は、長期借入金の減少58百万円によるものです。

### Point 3 純資産の部

純資産は、前期末に比べ298百万円減少しています。

純資産の減少の主な理由は、当期純損失298百万円、配当金9百万円、少数株主持分の増加7百万円等があったことによるものです。

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第23期 (自 2013年7月 1日 至 2014年6月30日)	第24期 (自 2014年7月 1日 至 2015年6月30日)
売上高	3,578,513	4,003,417
売上原価	2,615,075	3,087,582
売上総利益	963,438	915,835
販売費及び一般管理費	942,944	1,046,965
営業利益 (△損失)	20,493	△ 131,130
営業外収益	8,392	8,791
営業外費用	5,599	6,400
経常利益 (△損失)	23,286	△ 128,739
特別利益	4,562	—
特別損失	19,097	117,017
税金等調整前当期純利益 (△損失)	8,751	△ 245,756
法人税等	17,245	44,701
少数株主損益調整前当期純損失	8,493	290,457
少数株主利益	949	8,154
当期純損失	9,443	298,612

### Point 連結損益計算書

消防通信指令システム開発で納品があったこと等により、売上高は4,003百万円と前期比で11.9%増加しております。しかし、消防通信指令システムの案件に係る損失が発生したことから、営業損失131百万円(前期は営業利益20百万円)と損失となりました。同様の理由により、経常損失128百万円、当期純損失は298百万円となっております。

消防通信指令システム開発に係る損失としては、仕様変更や納品後対応など不採算案件発生による営業損失247百万円、今後の受注計画を見直したことによる特別損失・ソフトウェア評価損53百万円を計上しております。

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第23期 (自 2013年7月 1日 至 2014年6月30日)	第24期 (自 2014年7月 1日 至 2015年6月30日)
少数株主損益調整前当期純損失	8,493	290,457
その他の包括利益	2,305	2,226
包括利益	△ 6,188	△ 288,230
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	△ 7,138	△ 296,385
少数株主に係る包括利益	949	8,154

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第23期 (自 2013年7月 1日 至 2014年6月30日)	第24期 (自 2014年7月 1日 至 2015年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,195	139,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 63,657	4,046
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,749	256,021
現金及び現金同等物の増加額	80,789	399,096
現金及び現金同等物の期首残高	996,390	1,077,179
現金及び現金同等物の期末残高	1,077,179	1,476,275

### Point 連結キャッシュ・フロー計算書

(営業活動によるキャッシュ・フロー)  
税金等調整前当期純損失245百万円、売上債権の増加△45百万円、減価償却費91百万円、のれん償却費59百万円、減損損失31百万円、ソフトウェア評価損53百万円、製品保証引当金の増加119百万円の資金の支出を伴わない費用によるもの及び仕入債務の増加96百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)  
定期預金の解約による収入92百万円、有形固定資産の取得による支出30百万円、無形固定資産の取得による支出56百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)  
短期借入金の純増額333百万円、長期借入金の純減額58百万円、配当金の支払10百万円によるものです。

## ASロカス株式会社 統計調査支援システム

営業部 統計プロジェクト インタビュー



(左より、加藤裕人、齋藤康弘、大野睦)

そのため、短期間に大量の新規の引き合いがあり、全国の市を訪問してデモを行ったり、見積りを作成する必要があります。営業部内で担当分けを行いました。対応が遅れお客様をお待たせしてしまったこともありました。

また、遠隔地での引合い件数の増加を狙い、関西及び中部地区を特定企業に割り当てることで広範囲に渡っての営業活動を行いました。業務知識を一から覚える必要があったユーザー様との協業で、当初はこちらの意図が伝わらないこともあり苦労しました。ですが、ユーザー様も熱心に内容の把握や、独自の営業網を駆使して営業をしていただいた結果、前回は上回る受注件数を獲得できました。

### 受注の際にアピールしたポイントは？

当システムは、平成27年度までに58自治体へ導入済で、多くのユーザー様からさまざまな意見をいただいております。その声を常にシステムに反映していますので、ユーザー様の立場に立った使いやすいシステムであることをアピールしました。さらに、競合他社製品の特長を把握し、他社にない機能をアピールし、随意契約をいただいたケースも多くありました。

また、市区町村向けのシステム導入以外にも、総務省統計局や都道府県の統計調査業務も行っておりますので、統計業務全般に精通していることもアピールしました。

### その他、何か伝えたいことはありますか？

統計調査関連業務は当社が主力とする業務の一つと考えています。ですが、営業部だけでは当然業務を完了することはできません。今回の国勢調査でもいくつか問題はありましたが、お客様から感謝のお言葉をいただけたのはシステム担当者やデータ作成担当者が協力して作業をすすめたからであり、業務に携わった方全員に感謝しています。

■ASロカス株式会社  
■所在地：〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1  
■URL：http://www.as-locus.jp ■TEL：0436-24-0374 FAX：0436-24-2116

### システムの概要を教えてください

統計調査支援システムとは、市区町村にて国勢調査などの各種統計調査を実施する際に使用する事務支援システムで、主に調査区と呼ばれるポリゴンデータや住宅地図データを管理する地図機能と、実際に調査を行う調査員の情報を管理する調査員管理機能があり、それらに関連付けて運用できるパッケージシステムです。

当社では平成12年国勢調査時から当システムの開発を行い、平成16年にパッケージ化し、随時ユーザーの意見を取り入れてバージョンアップを行っています。

### 受注の苦労話があれば教えてください

当システムの新規の引き合いは、国勢調査の実施年度と前年度に集中します。

### 統計調査支援システム 主な機能

- ・調査員情報の管理
- ・調査員選定
- ・調査区作成
- ・調査員割り当て
- ・調査区印刷
- ・報酬計算
- ・セキュリティ関連



## アクモス株式会社 新入社員教育

アクモスグループでは、中期経営計画の基本方針の一つに「人財力・技術力アップにより、サービス価値の向上を目指す」と掲げ、社員教育に注力しています。

第24期より運用を開始した新人事制度では、ステージ基準に基づき、社員それぞれのステージに合わせたカリキュラムで成長をサポートしていきます。



新入社員教育では、基本をしっかり習得するため、研修に加えて2年間のOJTが計画されています。新入社員はその間、管理部所属という形式をとり、OJTのために配属された事業部に費用的負担をかけない形で育成を行います。

新入社員に対する教育としては、まずは入社前に、人財力育成として、社会人としての意識を醸成するための外部団体主催の集団研修、そしてマナーやコミュニケーションを学ぶための社内での基礎研修を、一部のグループ会社と合同で行います。

入社後には、技術力育成として、約2か月間にわたる技術研修を行います。第24期は、厚生労働省の「キャリア形成促進助成金」を活用し、首都圏におけるJava開発事業促進の方針に従い、外部講師を招いた「Java技術者養成コース」で一般的なJavaアプリケーション開発における必要な基礎知識を身につけました。

そして研修後は配属され、OJTとして、教育担当者である先輩社員によるバックアップを受けながら、約2年間にわたり、業務に必要な知識と技術を習得していきます。

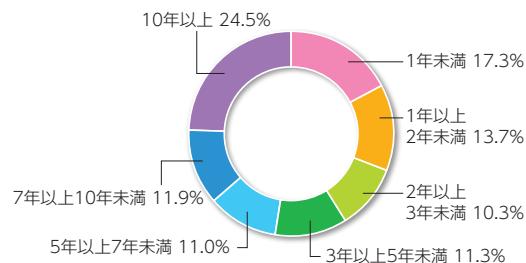


# アンケート結果報告

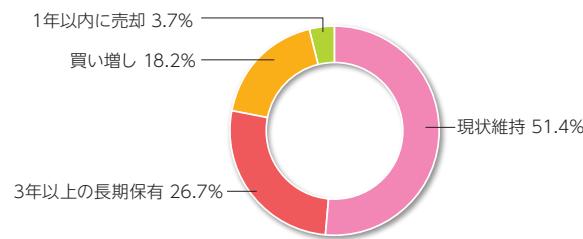
2014年秋発行のアクモスハイウェイに同封の「株主さまアンケート」につきまして、多くのみなさまから貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

**アンケート実施概要**  
 実施期間：2014年9月25日～2014年10月31日  
 ご回答いただいた株主さま 621名 (全体の17.3%)

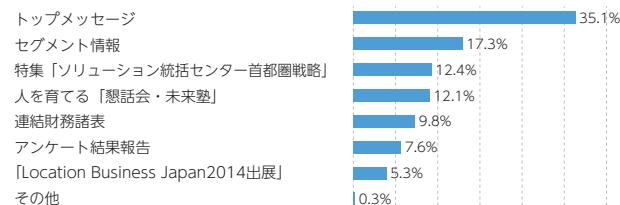
## Q1 ▶▶▶ 当社の株式の保有期間



## Q2 ▶▶▶ 今後の当社株式の保有についての方針をお聞かせください



## Q3 ▶▶▶ 前回の「アクモスハイウェイ」で興味をもたれた記事をお選びください (複数回答可)



## 株主さまからのご意見

- ・継続的で安定した成長と経営基盤をしっかりとつってほしい (40代男性)
- ・業績が上がり、配当に反映されることを願っております。まだまだ成長の余地はあると思いますので頑張ってください (30代女性)
- ・早期に業績の向上を目指し、黒字化を達成してください (60代男性)

## アンケートへのご協力をお願いいたします

当社では、株主のみなさまとのコミュニケーション充実を図るため、毎年、株主さまアンケートを実施しています。いただいたご意見・ご要望は、経営やIR活動の参考とさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

アンケート締切日：2015年10月31日 (消印有効)

## 社会貢献活動報告

当社が株主さまアンケートの謝礼品としてフェアトレード商品の購入や募金を通して南スーダンでの活動の支援を行っている特定非営利法人ピースウィンズ・ジャパンからレポートをいただきました。

### ピースウィンズ・ジャパン (PWJ) 南スーダン支援レポート

#### 国内避難民キャンプと周辺住民への衛生支援

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。PWJは、首都ジュバにできた避難民キャンプに住む約30,000人と周辺住民を対象に、トイレ設置や清掃などの衛生支援を継続しています。今後も、長期化する内戦に対して、必要な支援を実施していきます。



ジュバにできた避難民キャンプ



設置した手洗い場で手を洗う生徒

# 会社概要 / 株式の状況

## ■ 会社の概況 (2015年 (平成27年) 6月30日現在)

商号 アクモス株式会社  
 設立 1991年8月23日  
 資本金 6億9,325万円  
 社員数 連結343名 (単体220名)  
 主な事業  
 ・ITソリューション  
 IT基盤設計・構築  
 SI・ソフト開発  
 システム運用・保守  
 業務系アプリケーション開発  
 地図情報提供サービス  
 ・ITサービス  
 情報処理  
 検証・評価・認証

## ■ 取締役及び監査役の状況 (2015年 (平成27年) 9月25日現在)

代表取締役社長	飯島 秀幸	監査役 (常勤)	西山 達男
取締役 専務執行役員	石川 稔	監査役 (非常勤)	星野 隆宏
取締役 常務執行役員	深作 耕一	監査役 (非常勤)	平野 喜久臣
取締役 執行役員	清川 明宏	監査役 (非常勤)	金子 登志雄
取締役 (社外)	柴田 洋一		
取締役 (社外)	荻原 啓一		

※第24回定時株主総会終了後の状況を記載しております。

## ■ 主な事業所

本社 〒101-0052  
 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8  
 ユニゾ神田小川町三丁目ビル  
 TEL：03-5217-3121

茨城本部 〒319-1112  
 茨城県那珂郡東海村村松2713番地7  
 TEL：029-270-5555

つくばオフィス 〒300-0847  
 茨城県土浦市卸町一丁目1番1号 関鉄つくばビル2F  
 TEL：029-834-3391

※2015年7月1日より、本社のビル名が変更となっております。

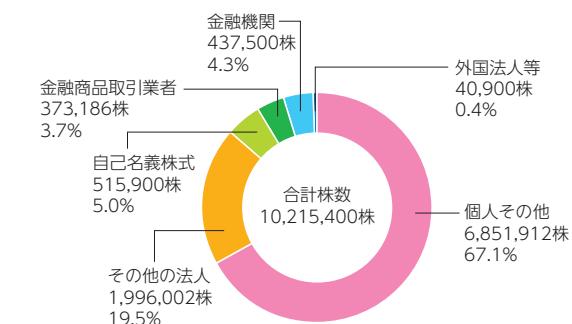
## ■ 株式の状況 (2015年 (平成27年) 6月30日現在)

発行可能株式総数 32,300,000 株  
 発行済株式総数 10,215,400 株  
 議決権を有する株主数 4,137 名  
 上位10名の株主の状況

株主名	持株数 (株)
コンセーユ・ティ・アイ株式会社	1,905,000
飯島秀幸	1,076,400
日本証券金融株式会社	437,500
アクモスグループ社員持株会	331,700
松田寛	223,200
株式会社SBI証券	206,800
南悟	97,900
金子登志雄	96,000
桧山秀夫	82,700
勝山紀夫	82,300

※自己株式を除く発行済株式総数の上位10名の株主を記載しております。

## 所有者別株式分布状況



## ■ 株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
公告方法	電子公告 <a href="http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html">http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html</a> (電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## ■ 株式事務関係のお問い合わせ

お問い合わせ先・ 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレフォンセンター 電話0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
--------------------	--

- 株券の電子化に伴い、株主様の住所変更、その他の各種手続きについては、原則として、証券取引口座を開設されている証券会社等で承ることになっております。
- 特別口座に記録された株式の各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレフォンセンターにお問い合わせください。



本社  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8  
ユニゾ神田小川町三丁目ビル  
TEL : 03-5217-3121  
FAX : 03-5217-3122



茨城本部  
〒319-1112  
茨城県那珂郡東海村村松2713番地7  
TEL : 029-270-5555  
FAX : 029-270-5531

JR東海駅より車で10分



アクモス 株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 ユニゾ神田小川町三丁目ビル  
TEL : 03-5217-3121 FAX : 03-5217-3122 <http://www.acmos.co.jp/>

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



環境に配慮した用紙、インクを採用  
しています。



証券コード : 6888

編集・発行 アクモス株式会社 経営企画室  
制作 宝印刷株式会社